

また、4月から12月までの新規求職者の態様別による構成比では、「会社都合による離職者」が15.2%（前年同期15.5%）で▲0.3P低下、「自己都合による離職者」が40.1%（同46.2%）で▲6.1P低下、「在職者」は26.5%（同33.5%）で▲7.0P低下となっておりますが、依然として在職中から求職活動を行う方の割合は高い状況にあります。このように、在職者、自己都合離職者が7割近くを占めており、震災以降、いわき地域の労働市場では、有効求人倍率が高水準で推移していたこともあって転職志向型の傾向が続いており、総じて人手不足の状況に大きな変化も見られず、今後も継続していくと見込まれますが、新型コロナウイルス感染症拡大長期化の影響も懸念されるところです。

これらは、新規高卒者の求人倍率にも影響しており、8年連続で2倍を超える状況にありますが、対前年同月比では▲0.45P低下となっております。

このような中、ハローワークでは、新型コロナウイルス感染症拡大により休業等余儀なくされながら雇用の維持を図っている事業主支援のため、雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金の相談窓口の充実や早期支給に取り組むとともに、引き続き人材の確保や労働力の定着のため「魅力ある職場づくり」に向けた取り組みを推進しているところです。長時間労働の是正や年次有給休暇取得促進などの「働き方改革」のほか、

非正規労働者等の正社員等への転換・待遇改善や、多様な形態での正社員化制度の導入、人材育成などに自主的に取り組んでいただき、雇用管理や労働条件面からの「魅力ある職場づくり」を進めていくことが大変重要なものと考えております。

この魅力ある職場づくりに取り組むためには、応募者が「この会社で働いてみたい」と思える、従業員の方が「この会社ですっと働きたい」と感じられる、「働きがい」や「働きやすさ」を高める雇用管理改善が必要となりますし、現在、パートや契約社員、派遣社員などの正社員以外の働き方で働いている労働者を正社員に転換することも、人材確保の有効な手段と考えております。

これらの取り組みを支援するための助成金制度（人材確保等支援助成金、キャリアアップ助成金）もごございますので、貴協会による労務管理や安全衛生面への指導・助言などの取り組みに加え、事業主の皆様により積極的な取り組みによって、魅力ある職場づくりに取り組んでいただき優秀な人材を確保されますよう、さらには業績向上ともなりますよう是非とも積極的な御検討をよろしくお願いいたします。

結びに、一般社団法人雇用管理協会並びに会員の皆様の益々のご繁栄を心より祈念申し上げ結びといたします。

令和3年3月新規高等学校卒業者の求人・求職状況（いわき職安管内）

（令和3年1月末現在）

項目	区分	令和2年3月卒			前年同月	対前年比	
		合計	男子	女子		増減数	増減率（%）
卒業予定者数		2,912	1,463	1,449	2,917	▲5	▲0.2
就職希望者数		805	470	335	845	▲40	▲4.7
	県内希望者数	560	322	238	600	▲40	▲6.7
	県外希望者数	245	148	97	245	0	0.0
求人	数	1,343			1,710	▲367	▲21.5
就職内定者数		778	462	316	824	▲46	▲5.6
	県内	535	314	221	581	▲46	▲7.9
	県外	243	148	95	243	0	0.0
求人倍率(倍)		2.40			2.85		▲0.45P
就職内定率(%)		96.6	98.3	94.3	97.5		▲0.9P
	県内	95.5	97.5	92.9	96.8		▲1.3P
	県外	99.2	100.0	97.9	99.2		0.0P
県内留保率(%)		68.8	68.0	69.9	70.5		▲1.7P

（注）学校・ハローワークの紹介により就職を希望する生徒数を計上（縁故就職等を除く）